

作成日 2022年4月1日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	アクアリピュア(浄水剤)	
会社名	KGホールディングス株式会社	
住所	愛知県北名古屋市中之郷栗島87	
担当部署	製造部	
担当者	製造部長	
電話番号	0568-25-5888	FAX番号: 0568-25-5885
整理番号	SDS NO.0101	

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品	
化学名	ポリグルタミン酸架橋物	
成分及び含有量	ポリグルタミン酸	90% ~
化学特性(化学式)	$\begin{array}{c} \text{COOH} \\ \\ \text{[(NH-CHCH}_2\text{CH}_2\text{CO)}_n\text{]}_m \end{array}$	
分子量	$[(129.12)_n]_m$	
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	設定されていない。	
CAS No.	49717-32-0	
HSコード	2922.42	
危険有害成分	特になし	

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性	
有害性	吸引または飲み込んだ場合、有害である。
環境影響	データなし
物理的及び化学的危険性	通常取り扱いでは危険性は低い。
分類の名称	分類基準に該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、鼻をかみ、うがいをさせる。必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに水で洗い流した後、石鹼でよく洗う。必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	直ちに清浄な流水で15分以上洗浄する。必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに口の中を水でよく洗浄し、可能であれば指をのどに差し込んで吐き出させる。必要に応じて医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	水、粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂
特定の消火方法	火元への燃焼源を断ち、消火活動は可能な限り風上から適切な消火剤を使用して消火する。 関係者以外は安全な場所に避難させる。

消火活動を行なう者の保護 消火作業の際は、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業の際には、十分に換気を行ない、必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
環境に対する注意事項	公共用水域に流出しないように注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに河川等に排出し、環境に影響を起こさないように注意する。
除去方法	粉塵を飛散させないように速やかに取除き、密閉できる容器に回収する。床面等に付着した物は水で洗い流し、大量の水で処理する場合は、排水を適切に処理してから排出する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
技術的対策	目、皮膚等への接触を避ける為、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。 換気の良い場所で保護具着用の上、取り扱うことが望ましい。 屋内作業場における取り扱い場所では、局所排気装置を使用する。 取り扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
安全取り扱い注意事項	容器を転倒、落下等の衝撃や引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散等しないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。 取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。 使用後は容器を密閉する。
保管	
適切な保管条件	水濡れを防止する措置を講じて保管する。 直射日光及び高温多湿を避け、換気の良いなるべく涼しい場所で密閉して保管する。
安全な容器包装材料	防湿性の容器(製品使用容器に準ずる)

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	取り扱い場所の近くに、目の洗浄及び体を洗浄する設備を設置し、その場所を表示する。 室内で取り扱う場合は、十分な能力を有する換気装置を備える。 多量に取り扱う場合は、集塵機を設置する。 粉塵が発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
許容濃度	
管理濃度(作業環境評価基準)	設定されていない。
日本産業衛生学会	設定されていない。
OSHA PEL	設定されていない。
ACGIH TLV(s)	設定されていない。
保護具	
呼吸器用の保護具	防塵マスク
手の保護具	保護手袋
目の保護具	側板付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣、長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	
形状	結晶または結晶性の粉末
色	白色
臭い	特になし
pH	5.0-7.0 (20g/l水浸液, 25°C)
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点(初留点)	データなし
融点	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし
爆発範囲(上限・下限)	データなし
蒸気圧	データなし
比重	データなし
溶解度	
溶媒に対する溶解性	水に膨潤し溶解する。
n-オクタノール/水 分配係数 (log Po/w)	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の状態安定。
反応性	水を含むと膨潤する。
避けるべき条件	日光、熱、湿気
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急生毒性 経口毒性(マウス 雌)	LD50	2,000mg/kg以上
皮膚腐食性・刺激性	データなし	
発がん性	データなし	
変異原生 ネズミチフス菌株	陰性	
大腸菌株	陰性	
催奇形成	データなし	
生殖毒性	データなし	

12. 環境影響情報

分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
生体毒性 魚毒性(ヒメダカ)	LC50(96hr、半止水式) 10,000mg/L以上

13. 破棄上の注意

残余廃棄物	焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者や公共団体に委託して処理をする。
使用容器及び包装	使用容器及び包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者や公共団体に委託して処理をする。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送	該当なし
海上輸送	該当なし
航空輸送	該当なし
国連分類	該当なし
国連番号	該当なし
海洋汚染物質	該当なし

輸送の特定の安全対策及び条件

堅牢で容易に変形、破損しない容器に入れて輸送する。

粉塵のたたない方法で輸送する。

湿気・水漏れに注意する。

容器の破損、漏れがないことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にしない、破損する危険があるような乱暴な取り扱いを避け輸送する。

該当する法規に従って、包装、表示、輸送を行なう。

15. 適用法令

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
船舶安全法(危規則)	非該当
航空法	非該当
化学物質管理促進法(PRTR法)	非該当

16. その他の情報

このMSDSに記載された含有量、物理化学的性質等の値は、保証値ではありません。また記載された注意事項は通常的な取り扱いを対象とした物です。取り扱いには十分注意してください。本MSDSの改訂版を受領した際は、旧MSDSを破棄くださるようお願い致します。

引用文献

労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
化学物質管理促進法(PRTR・MSDS)対象物質全データ	化学工業日報社
毒物及び劇物取締法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
GHS対応ガイドライン	(社)日本化学工業協会
